

2016いきいきシニア初春のつどい

年齢重ねたら「ばか」になれ！ 理想はかわいいおじいちゃん

歌手・俳優 黒沢年雄さん インタビュー



帽子のこだわりを記者に聞かれ、黒沢さんは「帽子は僕のキャラクター。帽子を被っている黒沢年雄っていうね。帽子がはったのは、僕がきつかけらしいよ」とにやり

profile

黒沢年雄 (くろさわとしお) 72歳

1944年2月4日、神奈川県生まれ。日大横浜高卒業後、キャバレーのバンドマン、工場作業員、訪問販売セールスマンなどを経験しながら俳優を目指し、64年、東宝映画4期ニューフェイスに合格し、映画「三人よれば」でデビュー。66年、映画「ひき逃げ」で初主演し、スター新人賞を受賞。近年はテレビドラマ、バラエティー、トークショーなど幅広く活躍している。

歌手や俳優として活躍する黒沢年雄さんが1月21日に来仙し、「2016いきいきシニア初春のつどい」(主催/宮城県社会福祉協議会・いきいきSUNクラブ)で講演。大盛況のうち幕を閉じた講演後に楽屋を訪ね、黒沢さんに仙台・宮城の印象や日常の楽しみなどを伺った。(7面に関連記事)

―仙台・宮城の印象は？
最高ですね。もう何十回も来ていて、僕は大好きです。昔、仙台にキャバレーがあって、新世界だか別世界だか…それはいいや(笑)。仙台には風情のある大きな川がある。さらにマンション群があつて、山があつて、近くに温泉もある。僕は

―仙台・宮城にはおいしい食べ物、お酒がたくさんありますが、好きなものはありますか？
食べ物に執着はないですね。まあ、今日は日帰りなので、新幹線に乗る前に仙台駅で牛たん弁当

―全国を回っていますけど、仙台は5本の指に入るほど好きな街。
―仙台・宮城にはおいしい食べ物、お酒がたくさんありますが、好きなものはありますか？
―今日は黒で統一したシックな衣装。普段のファッションは？
講演だからね。TPOを考えて自分で決めています。背広なんて持って

―最近ハマっている趣味はありますか？
ゴルフ、テニス、ジムに、ブルつていう、今までの趣味が生活の一部になつています。体を動かすのが大好き。
―年齢は考えたことがないですね。疲れたらやめる。苦しかったらやめる。ほどほどに。でも、体を

運動が大好き

―ごみを拾つ日を1週間に1日つくるのもいい。そういうことをすると気持ちいいじゃないですか。ただ生きて、飯食っているだけじゃ、つまらない。強要はできませんが、僕ならそうする。笑つのもいいですね。

愉快的な友達大切に

―一緒に笑える、友達や仲間がいるといいですね。それは大切でしょうね。ただ、楽しく愉快的な友達と付き合えないとね。マイナス思考の人や、疲れているからいいや〜ってそういう人は、そつちに引つ張られちゃうから。かわいいおじいちゃんになりたいね。「一緒にお茶飲みたい」「一緒にいると楽しい」「大好き」と思ってもらえるおじいちゃん。なかなか少ないよね。かわくなるには、「ばか」になるのがいい。でも、ばかじゃばかになれないんだよ。

黒沢さんご自身、そうなるために心掛けていることはありますか？

―見ている通り、いいところを見せようと思わないこと。考えちゃ駄目。
―最後に、シニア世代の読者に、生き生きとした人生を送るための秘訣(ひけつ)があれば教えてください。
―お好きなように生きてほしいんじゃないですか(笑)。



「2016いきいきシニア初春のつどい」での講演の様子